



# まつかぜ

発行者  
平和学園小学校同窓会  
茅ヶ崎市富士見町5-2

発行日  
平成25(2013)年8月30日

編集・印刷  
サイン印刷

題字  
学園長 中山 洋 司

## 同窓会のみなさま、こんにちは

平和学園小学校同窓会長 倉澤 条太

今年の「まつかぜ」をお届けします。

今年は悲しいお知らせから始めなければなりません。昨年「まつかぜ」を送送してすぐに、横山哲夫先生が山で遭難されたという知らせが届きました。懸命な捜索にもかかわらず、先生の消息は不明のまま今日に至っています。昨年の「まつかぜ」の増淵先生の寄稿には横山先生との交流場面がいろいろ描かれています。ご家族によれば、横山先生が故郷の新潟県を訪れるために出発されたその日に「まつかぜ」が届いたそうで、記事を読んでいただけなかったことも残念に思います。卒業生・旧教職員の有志の方々が「横山哲夫先生の会」を計画されました。くわしくは2面、3面の記事をご覧ください。

平和学園小学校では昨年4月に橘明子先生（幼稚園長兼任・平和学園高等学校卒）が校長に就任され、意欲的に母校の教育に携わっておられますが、昨今の少子化と厳しい経済情勢の中、生徒数が減る傾向が見られ、今年度の新入生は募集人数27名に対し13名となってしまいました。母校存亡の危機といえます。お子さん、お孫さんをどうぞ平和学園小学校に入れてくだ

さい。親戚、友人、知人にもぜひお勧めください。今の平和学園の様子はホーム・ページで見ることができますし、生の活動も折にふれて公開しています。また、

恒例のバザー、ジャズ・ライブ、クリスマス・パイプオルガン・コンサートの折にも来校していただき、平和学園の雰囲気を味わってみてください。

5月に開催された世話人総会で役員の改選が行なわれました。神尾元洋さん（昭51卒・写真）が新たに副会長に加わりました。また私は、平和学園・アレセア湘南校友会の遠藤大知会長辞任のあとを受けて、今年度より会長も兼務することになりました。より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

### 平和学園小学校同窓会役員

会長 倉澤 条太 (昭42卒)  
副会長 大澤 瑛美 (昭36卒)  
副会長 神尾 元洋 (昭51卒)  
副会長 竹内 剛 (昭56卒)  
会計・事務局 大村 浪雄 (昭34卒)



## ひとりの小さな力が集まって

平和学園小学校校長 橘 明子

小学校では、2011年3月11日の東日本大震災以来、毎月11日には「震災を覚える礼拝」を守り、献金を捧げる日として大切にしています。岩手・福島のような大きな被害はないものの、子どもたちの心の中にはあの時の恐怖が刻み込まれたのです。映像から映し出された被害の大きさに息のみ、体中が震え、悲しみが全てを呑み込んでしまったかのように心が閉じた子どもたちもいました。また、現実には、自分たちの生活環境の中で起きたことではないけれど、実際に被害を受けた子どもたちのことを考えた時、自分たちのこととしてイメージが重なりました。そして、心の中に残ってしまった映像が思いだされて苦しむ子どもの姿もありました。平和学園の創立者である賀川豊彦先生が、関東大震災の時、被害の大きかった地域の救済のために、行動を起こしたと聞いています。先生の、その思いはこの学園にしっかりと受け継がれていることを、賀川先生に伝えたいと思います。それは、あの日を忘れない声が子どもたちから聞こえてくると、子どもたちの思いが祈りの中にあることです。

小学校の小さな子どもたちができていることを考えると、沢山はないかもしれません。しかし、一番大切に考えなければならぬことはあります。それは、大きな被害にあった痛みが、自分のことのように理解できることだと思ふのです。だからこそ、

ちいさな力を集めて大きな力となるように、祈り続けること、自分たちができること、支え続けていくことだと思います。

私は、「震災を覚える礼拝」のお話を担当したことがあります。子どもたちにどのような話をしようかと迷いました。なぜなら、被害の大きさを思い出し、またあの恐怖に襲われてしまうのではないかなどを考えるととても心配でした。ただ、あの恐怖を乗り越えて、生きることへの希望を持ち、復興に向けて頑張っている人たちのことを知り、自然災害から様々な事柄を学んだからこそ、話せることを後世に伝える役割が私たちにはあると思うのです。賀川先生のように実際に現地に行って色々な手助けはできないけれども、思い、祈り、支え続けていきたいと思ふます。私は、子どもたちに岩手の小学校で実際にあった事を話しました。やはり、心配をしていた通りに礼拝が終わったあと、「怖かったよ」「思い出しちゃった」と言う声は何人も聞こえました。しかし、子どもたちは「お祈りしようよ」という気持ちも同時に伝えてくれたのです。一人ひとりが、この日を忘れずに心に留めて、命の大切さと自分ではどうにもならないことがあるからこそ、今のこの時を大切に考えて大きく成長して欲しいと思ふます。

今年度も小学校では沢山の方々に支えられていることに感謝をし、小学校の教育をより豊かなものとなるようにと考へています。また、キリスト教の教えに基づいて一人ひとりが大切で、かけがえのない子どもだという事を改めて心に刻み小学校の歩みを進めていきたいと思ふます。

## 横山哲夫先生 遭難



平和学園草創期から昭和 62 年 3 月まで平和学園小学校で教壇に立たれた横山哲夫先生が昨年 10 月 10 日、故郷新潟県の巻機山（まきはたやま・日本百名山のひとつ）に入山されて以来消息を絶ってしまいました。

まもなく 1 年ということで、卒業生などの有志とご家族が先生の会を催されることになりました。また一人娘の真子さんから先生の人物像を偲ばせる思い出の一文をいただきました。

まだ同窓会がない頃、横山先生は時折卒業生各期の代表に声をかけて母校に集め、平和学園小学校に学んだ絆を大切にしたいという思いで同窓会発足を促し、その後 1966（昭和 41）年に初めて名簿を作るまで、音頭をとってくださったことが思い出されます。

## 父・横山哲夫の思い出

昨年、私の父、横山哲夫は新潟県の巻機山で遭難し、現在も行方不明です。当時、山岳遭難救助隊の消防隊長から、「もしかして自らということは考えられませんか？」と言われたのですが、私は即座に答えました。「父に限って、自殺はあり得ません」。なぜなら、父は自分の人生をこよなく愛していたからです。

父の人生は、前半が教師として、後半はキリスト教の福音を伝えることに生涯を捧げたというべきでしょうか。そんな父をひと言で表すなら、「クリスチャンであることを無邪気に喜んでいた人」。神、キリストと自分の関係、そこに存在する信仰を何よりも大切にしていました。

しかし、娘から見ると、父はやはり最後まで教育者であり、自身もつねに学ぶことに挑戦し続けていました。もっとも、今の教育現場では、父のような教師は、やっていけなかったでしょう。何しろ、常識にとらわれることを何よりも嫌っていましたから。

けれども、子供に備わっている無限の可能性については心から信じていた人でした。いつか、父が知人に、「私は子供達を、神様からお預かりしている宝物だと思っています」と話していたことがありますが、本当にその通りだったと思います。私や孫達を慈しんで育ててくれました。

一方で、「答えは自分で考える」、「自分で選んだ人生は、自分で責任をもつ」という厳しい一面もありました。私は父から一度も「勉強なさい」と言われたことはありません。

「面白いと思ったことをやればいい。」それが父の信念であり、自ら実践していました。好奇心旺盛で、星座、パラグライダー、登山、クラシック音楽、ヴァイオリンとあらゆるものに興味を持ちました。聖書を原書で読みたいと、ヘブル語、

ギリシャ語を学び、後にフランス語、ドイツ語、韓国語は独学で読んでいました。部屋でよくモーツァルトやベートーヴェンの CD を聞いていましたが、教え子が出演するコンサートなどにも足を運びました。

書くことも好きでしたが、『聖書に遊ぶ』という自作の本は、卒業生達に買ってもらっていたそうです。礼拝などで話をするときのため、広告の裏や頂いた葉書の余白に、思いついた言葉をメモしておくのが癖でした。

「山手通信」という写真入りの便りを毎月、配布していましたが、パソコンに作成途中らしき最後の 1 枚があり、日付は偶然、遭難した 10 月 10 日になっていました。そこには、「マタイ 11 章の『学びなさい』という言葉は仏語で訳すと『訓練を受けなさい』という意味があります。ただ学ぶのではなく、具体的にまた痛い言葉ですね。がんばらなくっちゃ」と書かれてあり、写真は入っていませんでした。きっと山から帰って入れるつもりだったのでしょ。

父の最期がどのようなものだったのか、今でもわかりません。父を一人で山に行かせてしまったことを悔いる私に、従兄（父の甥で、平和の卒業生）は、「たとえ、しばらく山中で生存していたとしても、おじさんは状況を受け容れて神様に祈ることができる人だから。信仰の力を信じている人だから」と言って、励ましてくれました。

父は最後まで、喜びを持って信仰に生きた人でした。

「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。詩編 121・1」

2013 年 7 月 31 日

能 條 真 子 (旧姓:横山)  
(昭 48 卒)

## バザー2012

小学校 P T A 主催の恒例のバザーが 2012 年 11 月 3 日に開催されました。同窓会として以下の企画が参加しました。

中学生のグループが出店してくれたり、卒業生の PTA の方たちも同窓会のお店の売り子さんになって協力して下さって、だんだん参加者が増えました。

バザー終了後、慰労と親睦を兼ねた打ち上げ会を実施しました。同窓会世話人はもちろん PTA（現役と卒業生）、退職された先生方、バザー来場の卒業生など椅子が足りないほどの盛況でした。

今年は 2013 年 11 月 2 日(土) 11 時から 2 時までおこなわれます（例年 11 月 3 日の開催ですが、今年は 3 日が日曜になるので、2 日開催となります。お間違いないよう）。

昨年の出店者のほとんどが今年も参加されることになっています。出店に興味を持たれた方は今からでも間に合いますので、ぜひ申し出てください。また作品の展示のみの参加でも構いません。あるいは、音楽室を使えますから、アンサンブルやソロでのミニ・コンサートを企画して参加して下さるとうれいす。

今年も東海岸の SPORTIFF で打ち上げ会をいたします。ミニ同窓会です。バザーに来て現在の母校を知り、打ち上げ会で懐かしい方々と歓談しましょう。

本部/有機野菜・パン・寄贈品など  
岩倉瑞江/(株) スポーティブ  
江口なおみ/NPO 法人ノア  
竹内健/(株) 日賀真珠店  
斎藤比呂子/画廊アールアン

市村真紀子/市村図書  
富澤美紀子/たましるの郷  
竹内忍/(有) まりん  
小林伊吹/ストールなど  
竹内剛/(株) ダンスタン

後藤楯比古/似顔絵  
中田夕夏/似顔絵  
吉田真折子/オブジェ  
平成 22 卒有志/雑貨・玩具  
鎌倉パーク・ホテル

増淵尚子/オリーブ・オイル・ソムリエ  
小林鉄斎/Canadianstyle Photo  
地域活動支援センター楽庵/陶芸・手芸  
中島豊茂・菱倉勝人ほか(クレープ 134)/バンド演奏

## 10月5日に「横山哲夫先生の会」

発起人代表 高垣 徹蔵 (昭31卒)

横山哲夫先生が上越国境の巻機山に入られて10か月が過ぎました。夏山シーズンの盛り、多くの人が今年も巻機山に登っていますが、横山先生は全く聞こえてきません。先生の故郷・新潟県小千谷市からそう遠くない山で、昨年10月10日に巻機山に入られる前々日にも故郷の同窓生たちと旧交を温めていた、ということです。

横山先生が大学を卒業して平和学園で教職の仕事に就かれたのは1948(昭和23)年のことです。第二次世界大戦が終わってまだ2年、平和学園が歩き始めたばかりの時です。平和学園が学校法人になるのは1951(昭和26)年のことで、先生が着任された当時は白十字会林間学校の中の組織でした。創立者の村島婦之先生が校長として陣頭指揮され、理事長の賀川豊彦先生も折に触れて来校されていたところです。ちなみに、林間学校は、古い卒業生にとっては懐かしい存在ですが、1917(大正6)年にできた、日本で初めての医療と教育を備えた虚弱児のための寄宿制私立小学校でした。1966(昭和41)年に初めて作られた「平和学園同窓会 小学校 会員名簿」には終戦の年1945(昭和20)年の卒業生まで遡って収録されています。巻末に横山先生は書かれています。「いつまでが林間学校で、いつからが平和学園というめんどうな問題には触れないことにして(後略)」。

横山先生は数年、平和で仕事された後、もう一度勉強したいと別の大学に行かれました。学園に戻られたのは1954(昭和29)年4月でした。それから1987(昭和62)年3月の定年まで、平和学園小学校一筋に教鞭をとってこられました。

平和学園小学校は小さな学校ですが、それでも四十年の教師生活。横山哲夫先生を慕う教え子は、70歳過ぎのシニアから30歳・40歳代の現役バリバリ迄、千人ほどになるでしょう。急にいなくなってしまった恩師。

「今ではいないタイプの先生だよな。懐かしいな」「思い出話をいろんな人からも聞きたいな」「せめて別れの言葉ぐらい」

——卒業生の中で、いつかそんな話になりました。横山先生の涼子夫人(古い卒業生にとっては「申田先生」と言った方が通りがいい?)や一人娘の真子さん(現姓・能條=三遊亭遊吉夫人)ともご相談のうえ、横山家と平和学園卒業生や現旧教職員などの有志主催の形で、下記のように「会」を開くことになりました。

「偲ぶ会」「お別れ会」「語る会」「慕う会」…会の名称についてはいろいろな案がありましたが、そこは、大雑把でありながら一人一人の個性を大事にしてくださった横山先生らしく、参加する人それぞれの思いで付けていただくこととして、最大公約数の「横山哲夫先生の会」としました。

### 横山哲夫先生の会

日時：10月5日(土) 午後1時から  
場所：平和学園小学校講堂「グレニアホール」  
会費：3,000円

※平服で気軽にお出で下さい。  
※駐車場の準備はありません。徒歩・自転車またはバスをお使いください。  
※ホール内は土足厳禁です。上履きをご用意ください。  
※会費以外の供花・お花料(香典)など一切ご遠慮申し上げます。

参加される方は準備の都合上、9月15日までに下記宛にご連絡ください。

ハガキ：〒231-0852  
横浜市西区西竹之丸88 能條真子  
Fax：045-662-2508  
Eメール：mami33@mint.ocn.ne.jp

## JAZZ LIVE CONCERT IN CHIGASAKI 2013

5月18日に第4回目のジャズ・ライブを開催しました。今回は日本のジャズの歴史の生き証人といった大御所3人・テナー・サクスの尾田悟氏、ドラムスの猪俣猛氏、ピアノの秋満義孝氏に加えて、ベースのジャンボ小野氏とテナー・サクスの若手・浜崎航氏を迎えて、磨き抜かれた余裕のスウィング・ジャズを楽しみました。これまで例年出演して下さっていたヴォーカルの野村佳乃さんが飛び入りで2曲歌い、より一層華やかなステージとなりました。

第5回は来年5月17日(土)に、今回とほぼ同じメンバーを招いて開催いたします。どうぞお誘い合わせのうえ、お出か

け下さい。

今回は広報のお手伝いの人手が増えた結果、ポスターの掲示、チラシ積み置きをしてくださった店舗数も30軒以上になり、またポスティングも広範囲に実施できたおかげで、入場者が増えました。アンケートの結果をみても初めての来場者が多く、これからも広報次第で入場者が伸びそうです。お手伝いして下さる方、どうぞ申し出てください。

#### 今回のおもな演奏曲

Rose Room  
I Surrender Dear  
Opus 1  
I'm Confessin'  
Exactly Like You  
If I Had You  
浜辺の歌  
シェルブールの雨傘

Misty  
Oh! Lady Be Good  
Se Llama Fujiyama  
Samba Cumana  
Sweet Sue  
Five Spot After Dark  
Blue And Sentimental  
Lester Leaps In  
Dark Eyes



## クラス会などの報告と連絡

クラス会や会合の写真や情報をいただきました。今後も写真やコメントとともに情報をお寄せ下さい。

### 初代学園長 村島帰之先生のお墓参り

2011年6月15日  
旧職員、卒業生の有志で。



### 1952(昭和27)年卒クラス会(横哲会)

① 2012年5月17日  
横浜中華街にて昼食会。今までは2~3年に一度開催。来年からは毎年の予定です。

② 2013年5月13日  
本年も横浜で16名が集まり、旧交を温めましたが、何といても当然そこにあるべき先生の姿を欠くという、思いもかけない残念な会となりました。それでも今後も先生を偲び、年に一度集まることとして散会となりました。



### 1968(昭和43)年卒ミニ・クラス会

2012年夏  
現在アメリカ在住の同級生が一時帰国した時に、急遽プチ同窓会を開きました。



### 1981(昭和56)年卒ミニ・クラス会

2ヶ月に1回程度、会える同級生同士でランチに行っています。



### 1959(昭和34)年卒クラス会開催の呼びかけ

10月5日の「横山哲夫先生の会」に出席の方、下記までご連絡ください。当日クラス会をしましょう。

岡田枝画子(旧姓橋本) ☎0467-82-7380 E-mail: shigakookada@yahoo.com  
伊藤美保子 ☎0467-87-7272 E-Mail: mihoko0467@mail.goo.ne.jp

## 自分の進路を考える講座

第1回「自分の進路を考える講座」が2012年12月19日に賀川村島記念講堂で開催されました。講師は建築家の山口洋一郎さん(昭34卒、㈱洋建築企画代表取締役)で、ご存知のように2007年から平和学園理事長も務めています。山口さんが建築家を志した経緯や建築家としてのこだわりを、作品例を挙げながら話されました。

小学校5年から中学校3年の生徒を中心に、高校生、保護者、卒業生など多数が参加しました。

## 2012年度会計報告(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
維持会費	342,000	維持会費振込料	11,450
新卒者入会金	250,000	「まつかぜ」印刷費	183,750
バザー売上	54,340	「まつかぜ」送料	94,960
バザー出店者協力金	282,300	小学校PTAへの寄付金	200,000
親睦反省会費	15,000	通信費	41,340
預金利息	708	印刷費	109,190
		会議費	12,142
		新卒者記念品	60,375
		消耗品雑費	6,089
		親睦活動費	74,800
		バザー仕入	30,141
		ホームカミングデイ接待費	6,600
		バンド交通費	30,000
前期繰越金	3,863,166	次期繰越金	3,948,677
<b>合計</b>	<b>4,809,514</b>	<b>合計</b>	<b>4,809,514</b>

## 2014年度 児童募集

### 第1回 入学選考

- ◆願書受付 / 9月21日(土)~9月27日(金)
- ◆募集人員 / 第1学年 27名
- ◆選考日 / 10月22日(火)

### 第2回 入学選考

- ◆願書受付 / 10月23日(水)~11月5日(火)
- ◆募集人員 / 第1学年 若干名
- ◆選考日 / 11月12日(火)

### 2013年度 転入学児童募集

- ◆募集人員 / 欠員のある学年 男女若干名  
お問い合わせ下さい。

### 〔公開行事〕

- ※平和をとものに: 9月21日
- ※バザー: 11月2日
- ※学習発表会: 3月5日
- ※運動会: 10月12日
- ※クリスマス: 12月13日

お問い合わせ: TEL 0467-87-1662

## 第27回 クリスマス・チャリティー パイプオルガン・コンサート

2012年12月8日に500名を越すお客様を迎え、賀川村島記念講堂にて開催されました。第一部は後藤香織氏によるパイプオルガンと器楽のアンサンブル、第二部はフランシス・ウィッチ氏によるレクチャー・コンサートを楽しみました。

今年の第28回クリスマス・チャリティー・パイプオルガン・コンサートは下記のように予定しています。

日時: 2013年12月7日(土) 午後1時半開演

会場: 平和学園 賀川村島記念講堂

※ 入場無料 (先着550名まで)

## The 5th JAZZ LIVE CONCERT IN CHIGASAKI

日時: 2014年5月17日(土) 午後2時より

会場: 平和学園 賀川村島記念講堂

出演: 尾田悟・秋満義孝・猪俣猛・ジャンボ小野

※ チケットは2014年2月より発売予定

## 維持会費納入のお願い

維持会費は同封の振込用紙を利用して納入していただきますよう、お願いいたします。

1口1,000円、何口でも結構です。

## 職員動静

増 淵 秀 俊 退任 神 白 秀 之 退任  
水 野 愛 弓 新任  
白 屋 幸(幼稚園から異動) 小 湊 将 之(幼稚園から異動)

## 編 集 後 記

感想、意見、掲載原稿をお寄せください。クラス会の写真もぜひお寄せください。

小学校同窓会への連絡用として、メール・アドレス heiwagakuen@gmail.com を設定しております。ご利用ください。

また、小学校の事務でも同窓会事務局への取次ぎをしてくれます (TEL: 0467-87-1662)。